

毎週火・金曜日発行（当日が休日に当たるときは、休日の翌日）



福島県報

目次

告示

- 大規模小売店舗の変更の届出について意見があった件
- 県営土地改良事業計画を変更した件
- 土地改良法により換地計画を定めた件
- 保安林の指定施業要件を変更した旨の通知をする森林所有者等の所在が不明であるため当該通知の内容を掲示した件
- 道路の区域を変更する件
- 土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域を指定する件
- 肥料の登録の有効期間を更新した件
- 福島県教育委員会
- 福島県教育委員会文書等管理規則の一部を改正する規則
- 福島県立学校に勤務する教育職員が業務を行う時間の上限に関する規則の一部を改正する規則

空 空 空 空 空 空 空 空 空 空

告示

福島県告示第八十号

大規模小売店舗立地法（平成十年法律第九十一号。以下「法」という。）第八条第一項の規定により第六条第一項の変更の届出に係り聴取した意見の概要及び第八条第二項の規定により述べられた意見の概要は、次のとおりである。なお、当該意見を令和八年二月十七日から同年三月十七日まで福島県商工労働部産業振興総室商業まちづくり課、福島県県北地方振興局企画商工部地域づくり・商工労政課及び福島市総務部総務課市民情報室に備え置いて縦覧に供する。

令和八年二月十七日

福島県知事 内堀雅雄

- 意見の対象となった大規模小売店舗の名称及び所在地
- ザ・ビッグ鎌田店 福島県福島市鎌田字熊ノ前三十二番一ほか
- 法第八条第一項の規定により福島市から聴取した意見の概要
- 意見なし
- 法第八条第二項の規定により述べられた意見の概要
- 意見書の提出なし

（商業まちづくり課）

福島県告示第八十一号

土地改良法（昭和二十四年法律第九十五号）第八十八条第十九項の規定により、大池（堤地区に係る県営農村地域防災減災事業（防災重点農業用ため池緊急整備事業（地震・豪雨対策型））を行うため土地改良事業計画を変更した。この関係書類を次のとおり縦覧に供する。

令和八年二月十七日

福島県知事 内堀雅雄

縦覧に供する書類

一 土地改良事業変更計画書の写し

二 縦覧の期間

令和八年二月十八日から
令和八年三月九日まで（二十日間）

三 縦覧の場所

四 縦覧の期間

その他

この土地改良事業計画について不服があるときは、縦覧の期間満了の日の翌日から起算して十五日以内に福島県知事に審査請求をすることができる。
また、この土地改良事業計画については、この審査請求のほか、この土地改良事業計画が定められたことを知った日の翌日から起算して六箇月以内に、福島県を被告として、当該土地改良事業計画の取消しの訴えを提起することができる。

（農村計画課）

福島県告示第八十二号

土地改良法（昭和二十四年法律第九十五号）第八十九条の二第二項の規定により、山口地区の県営区画整理事業に係る換地計画を定めた。このために係る関係書類を次のとおり縦覧に供する。

令和八年二月十七日

福島県知事 内堀雅雄

縦覧に供する書類

一 換地計画書の写し

二 縦覧の期間

令和八年二月十八日から
同 年三月九日まで
(二十日間)

三 縦覧の場所
田村市役所

四
その他

この換地計画について不服があるときは、土地改良法第八十九条の二第四項で準用する同法第八十七条第六項の規定により、縦覧の期間満了の日の翌日から起算して十五日以内に福島県知事に審査請求をすることができる。

また、この換地計画については、上記の審査請求のほか、この換地計画が定められたことを知った日の翌日から起算して六箇月以内に、福島県を被告として、当該換地計画の取消しの訴えを提起することができる。

(農村基盤整備課)

福島県告示第八十三号

森林法（昭和二十六年法律第二百四十九号）第三十三條の三において準用する同法第三十三條第六項において準用する同條第三項の規定により、保安林の指定施業要件を変更した旨の通知をする相手方のうち次に掲げる者については、その所在が不明であるため、同法第百八十九條の規定により当該通知の内容を浅川町役場の揭示場に揭示した。当該通知の内容の要旨は、次のとおりである。

令和八年二月十七日

福島県知事 内堀 雅雄

一 所在の不明な者の氏名

近藤正昭 須藤常松

二 通知の内容の要旨

1 保安林の指定施業要件を変更したこと。

2 当該変更に係る保安林の所在場所及び変更後の指定施業要件については、保安林の指定施業要件を変更する件（令和八年福島県告示第九号）によること。

(森林保全課)

福島県告示第八十四号

道路法（昭和二十七年法律第百八十号）第十八条第一項の規定に基づき、県道について道路の区域を次のように変更する。その関係図面は、福島県土木部道路総室道路計画課及び福島県相双建設事務所で令和八年二月十七日から二週間一般の縦覧に供する。

令和八年二月十七日

福島県知事 内堀 雅雄

路線名	区間	変更前後	敷地の幅員 (メートル)	延長 (メートル)
-----	----	------	-----------------	--------------

県道広野 小高線	双葉郡大熊町大字熊川 字八坂二七四番二地先 から 同 郡同 町大字小入 野字東平一三一番一地 先まで	変更前	A 三・〇 三〇・〇 一〇・〇 九五・〇	二、二一七・六 一、六六〇・〇
	双葉郡大熊町大字熊川 字八坂二六九番二地先 から 同 郡同 町大字小入 野字東平一三〇番一地 先まで	変更後	A 三・〇 三〇・〇 一〇・〇 九五・〇	二、二二二・一 一、六八〇・〇
	同 郡同 町大字小入 野字東平一三一番一地 先まで		B 一〇・〇 九五・〇	一、六八〇・〇

福島県告示第八十五号

土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律（平成十二年法律第五十七号）第七条第一項及び第九条第一項の規定により、土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域を次のとおり指定する。

令和八年二月十七日

一 土砂災害警戒区域

福島県知事 内堀 雅雄

区域名	区域	土砂災害の発生原因となる自然現象の種類	区域の範囲
小田原沢	相馬市山上字小田原	土石流	次の図のとおり
櫛平沢	双葉郡浪江町大字赤字木字櫛平	土石流	

二 土砂災害特別警戒区域	中平	同 郡同 町大字赤字木字前田	土石流	土砂災害の発生 区域の範囲及び 自然現象により
	前田	同 郡同 町大字赤字木字前田	土石流	
	冷田沢 2	同 郡同 町大字南津島字上冷	土石流	
	松木 山	同 郡同 町大字下津島字松木	土石流	
	下津島沢	同 郡同 町大字南津島字大宮	土石流	
	西之内	同 郡同 町大字南津島字西ノ	土石流	
	堂ノ下沢	同 郡同 町大字南津島字中下	土石流	
	中平 B	同 郡同 町大字赤字木字中平	急傾斜地の崩壊	
	塩浸 B	同 郡同 町大字赤字木字塩浸	急傾斜地の崩壊	
	牛の舌	同 郡同 町大字下津島字大和	急傾斜地の崩壊	
	小高瀬迫 C	同 郡同 町大字高瀬字小高瀬	急傾斜地の崩壊	
	井戸神沢	同 郡大熊町大字野上字姥神	土石流	
	野上	同 郡同 町大字野上字旭ヶ丘	土石流	
	旭ヶ丘	同 郡同 町大字野上字旭ヶ丘	土石流	
	西平 D	同 郡同 町大字大川原字西平	急傾斜地の崩壊	

（「次の図」は、省略し、その図面を福島県土木部河川港湾総室砂防課及び当該土砂災害警戒区域又は当該土砂災害特別警戒区域を所管する福島県建設事務所に備え置いて縦覧に供する。）

区域名	区 域	原因となる自然現象の種類	建築物に作用すると想定される衝撃
小田原沢	相馬市山上字小田原	土石流	次の図のとおり
柵平沢	双葉郡浪江町大字赤字木字柵平	土石流	
中平	同 郡同 町大字赤字木字前田	土石流	
前田	同 郡同 町大字赤字木字前田	土石流	
冷田沢 2	同 郡同 町大字南津島字上冷	土石流	
下津島沢	同 郡同 町大字南津島字大宮	土石流	
堂ノ下沢	同 郡同 町大字南津島字中下	土石流	
中平 B	同 郡同 町大字赤字木字中平	急傾斜地の崩壊	
塩浸 B	同 郡同 町大字赤字木字塩浸	急傾斜地の崩壊	
牛の舌	同 郡同 町大字下津島字大和	急傾斜地の崩壊	
小高瀬迫 C	同 郡同 町大字高瀬字小高瀬	急傾斜地の崩壊	
野上	同 郡大熊町大字野上字旭ヶ丘	土石流	
旭ヶ丘	同 郡同 町大字野上字旭ヶ丘	土石流	
西平 D	同 郡同 町大字大川原字西平	急傾斜地の崩壊	

（砂 防 課）

公 告

公告第四十号

肥料の品質の確保等に関する法律（昭和二十五年法律第二百二十七号）第十二条第二項の規定により、肥料の登録の有効期間を次のとおり更新した。
令和八年二月十七日

福島県知事 内 堀 雅 雄

登録番号 (福島県)	肥料の 種 類	肥料の 名 称	保証成分量 (%)		その他の 規 格	氏名又 は名称	住 所	更新した 登録の有 効期限
			窒素 全量	りん 酸全 量				
837	混合有機質肥料	混合有機質肥料10号	10.0	1.0	含有を許される有害成分の最大量及びその他の制限事項は、公定規格のとおり。	片倉コープアグリ株式会社	東京都千代田区九段北一丁目8番10号	令和11年3月15日

(農業総合センター)

福島県教育委員会

福島県教育委員会文書等管理規則の一部を改正する規則をここに公布する。

令和八年二月十七日

福島県教育委員会

福島県教育委員会規則第一号

福島県教育委員会文書等管理規則の一部を改正する規則

福島県教育委員会文書等管理規則（平成十二年福島県教育委員会規則第二十一号）の一部を次のように改正する。
別表第一県立学校の項中「船引高等学校（船高） 小野高等学校（小野高）」を「あ

ぶくま柏鵬高等学校（あ柏高）」に、「平商業高等学校（平商高）」を「いわき商業情報高等学校（い商情高）」に、「四倉高等学校（四高） 双葉高等学校（双高）」を「双葉高等学校（双高）」に、「猪苗代支援学校（猪支）」を「猪苗代支援学校（猪支）みなみあいづ支援学校（み支）」に改める。

附 則

この規則は、令和八年四月一日から施行する。

(教育総務課)

福島県立学校に勤務する教育職員が業務を行う時間の上限に関する規則の一部を改正する規則をここに公布する。

令和八年二月十七日

福島県教育委員会

福島県教育委員会規則第二号

福島県立学校に勤務する教育職員が業務を行う時間の上限に関する規則の一部を改正する規則

福島県立学校に勤務する教育職員が業務を行う時間の上限に関する規則（令和三年福島県教育委員会規則第三号）の一部を次のように改正する。

第一条中「令和二年文部科学省告示第一号」を「令和七年文部科学省告示第百十四号」に改める。

附 則

この規則は、令和八年四月一日から施行する。

(職 員 課)